

こもろ 市議会だより

3月定例会

No. **170**
平成29.4.26



夢
ふ
く
ら
む
入
学
式

野
岸
小
学
校

6月定例会は、6月5日(月)開会の予定です

平成29年度 予算を可決

主な内容

- 特集 平成29年度予算 …………… 2～3 ページ
- 3月定例会の概要 …………… 4～5 ページ
- 常任委員会報告 …………… 6～7 ページ
- 代表質問(6名) …………… 8～12 ページ
- 個人質問(11名) …………… 12～17 ページ
- 議員紹介コーナー …………… 17 ページ
- 「議会と語る会」報告・案内 …………… 18～20 ページ
- 傍聴席・編集後記 …………… 20 ページ

平成29年度一般会計当初予算168億円 (前年度比7.0%減) を原案可決

予算の概要

平成29年度の一般会計予算の総額は、168億円で、前年度比7.0%減となっています。

「第5次基本構想」を受け、「第10次基本計画」が昨年策定され、計画に沿った予算措置が行われる初年度となります。市長公約の「こもろ未来プロジェクト」などの施策が着実に実施されるかチェックしていきます。

◆修正案が提出されるも賛成少数で否決

同和对策関連予算は認められない。(日本共産党) 修正案に反対討論

人権政策における、運動団体への委託補助及び解放子ども会の活動に関わる人権同和教育促進事業は、結婚差別やインターネット上の差別現象など、未だ同和問題の解消が図られていない現状から、部落差別の根絶に向けて引き続き重要な取り組みであり、予算については認めるべきである。

修正案に賛成討論


人権政策が同和問題に特化されることは逆差別を生み、真の同和差別解消に繋がらない。同和地区を対象とした住環境整備の貸付金36億4千324万円は、6億2千870万円余が未収となっている。特別扱いの差別的温床になる。小諸のすべての子どもが大切にされる教育環境の整備こそ大切。解放子ども会は解散すべきだ。補助金等の行政監査を再度求める。

平成29年度予算の重点事項

- ①妊娠、出産期から子育て・教育における相談支援体制の充実
- ②災害時に備えた防災体制の充実
- ③情報戦略により小諸市の魅力を発信する「ふるさとPR事業」、ブランド化の推進

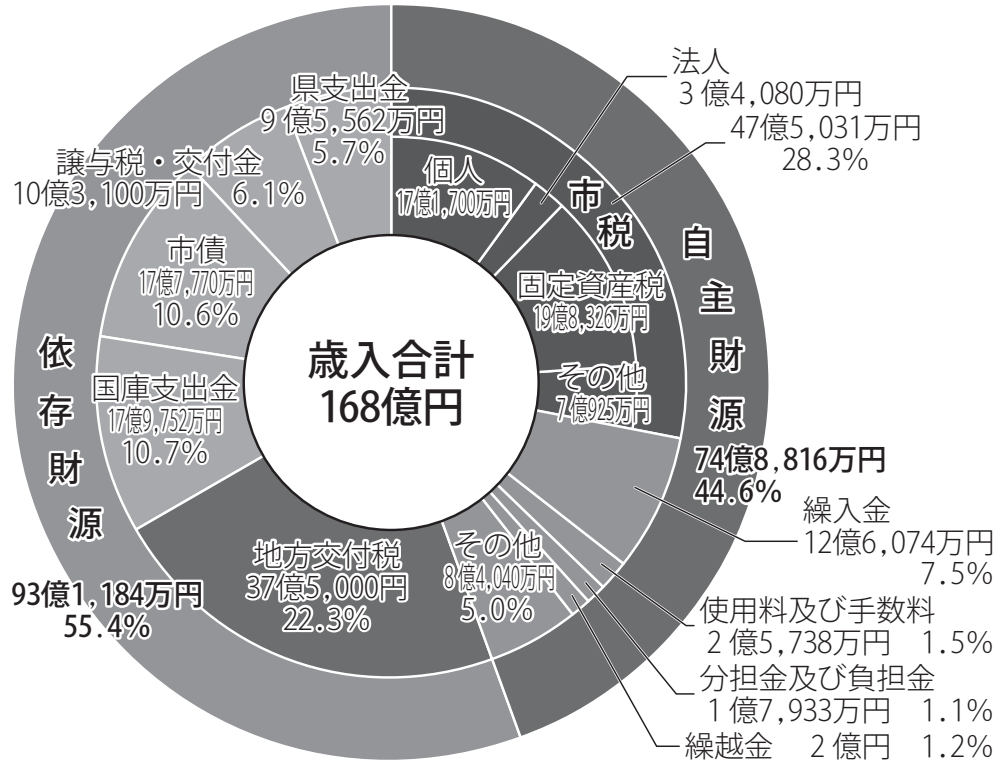
市民一人当たりの歳出 約39万円 (一般会計)

政策別での内訳は、

<p>1 子育て・教育 22億9,790万6千円 一人当たり53,636円 (前年比 ▲1,578円減)</p> 	<p>2 環境 16億6,487万3千円 一人当たり38,860円 (前年比 ▲2,924円減)</p> 	<p>3 健康・福祉 63億1,179万7千円 一人当たり147,327円 (前年比 ▲9,849円減)</p> 	<p>4 産業・交流 13億4,010万3千円 一人当たり31,280円 (前年比 ▲3,784円減)</p> 
<p>5 生活基盤整備 17億5,054万9千円 一人当たり40,860円 (前年比 ▲6,823円減)</p>  <p>こもろ愛のりくん</p>	<p>6 協働・行政経営 34億3,477万2千円 一人当たり80,173円 (前年比 ▲1,194円減)</p> 	<p>(内) 借金返済 (16億6,326万9千円) (一人当たり38,823円) (前年比 1,816円増)</p> 	

※人口42,842人で計算 (平成29年3月1日現在外国籍住民を含む)

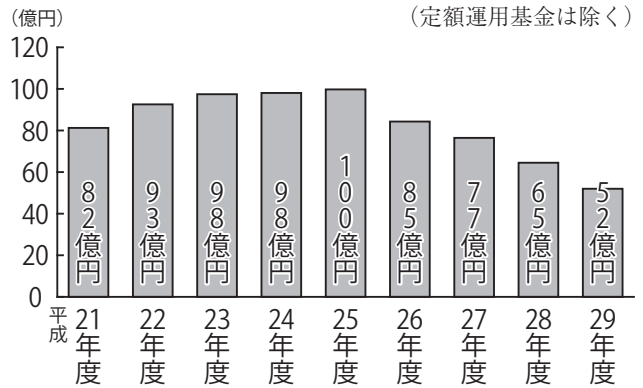
一般会計当初予算歳入内訳



平成29年度 特別会計・企業会計予算

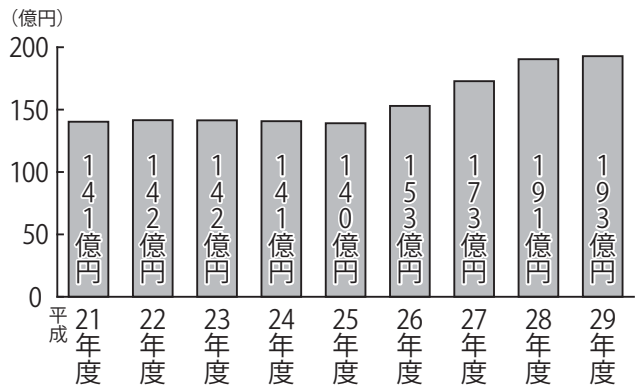
公平委員会	23万円
国民健康保険事業	56億2,800万円
後期高齢者医療	4億4,150万円
介護保険事業	41億2,200万円
奨学資金	596万円
住宅新築資金等貸付事業	6,039万円
農業集落排水事業	2億3,350万円
小諸公園事業	1億3,000万円
野生鳥獣商品化施設運営事業	1,340万円
高峰財産区	269万円
御牧ヶ原財産区	153万円
古牧財産区	209万円
滋野財産区	56万円
乗瀬地区市有地管理事業	12万円
水道事業	収益的支出 9億571万円 資本的支出 2億9,599万円
公共下水道事業	収益的支出 11億9,123万円 資本的支出 11億5,661万円
〃	

基金残高の推移 (一般会計、概数)



※平成28・29年度は見込み額

地方債(借入金)残高の推移 (一般会計、概数)



※平成28・29年度は見込み額

・御影用水越流災害に伴う特別対応条例
及び 市長・副市長減俸給与条例 可決
・給付型奨学金制度新設の関連議案可決
ほか43議案可決

平成29年第2回3月市議会定例会が2月28日に招集され、3月23日までの24日間の日程で開かれました。本定例会では理事者から平成29年度一般会計予算、条例など43議案が提出されました。

また、議員より平成29年度一般会計予算に対して修正案が出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決となりました。結果、議員発議を含め46議案すべてを原案可決しました。

主な議案

◆小諸市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

昨年11月に発生した御影用水越流災害で、職員の初動体制が不十分で、多大な被害に至ったとして、給料月額から、市長は2カ月、副市長は1カ月、それぞれ10%を減額する改正です。

◆小諸市御影用水越流災害の特別対応に関する条例

被災者に対して、第一義的には小諸市が担うこととするが、損害賠償の法的責任は、事実や要件等を精査し、合理的な判

断がなされて確定することや、損害賠償の原因に第三者の責任が認められた場合は、第三者に対して請求を行うことなどを規定したものです。



「御影越流災害の様子」

◆小諸市あさま奨学金給付条例

これまでの貸与型奨学金制度に加え、市内の篤志家からの寄付金5千万

円を財源に、給付型の奨学金制度の「小諸あさま奨学金」が新設されます。

◆小諸市空家等対策協議会条例

空家対策の計画策定及び実施に関する協議を行う空家対策協議会の設置について定めたものです。

◆小諸市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

国の法律改正に伴い「養育する子の範囲」を拡大するもので、特別養子縁組や児童福祉法の規定による里親である職員が養子縁組によって養親となることを希望している場合等について、育児休業の対象とする等の改正です。

◆平成28年度小諸市一般会計補正予算（第9号）

主な内容は次のとおりです。
○民生費
生活保護扶助費増加に

伴い2千600万円を増額

○農林水産費

有害鳥獣の駆除頭数増加により業務委託料240万円余を増額

○教育費

野岸小学校管理棟の改築に関し、平成29年度に予定した工事を、前倒しして行うため、4億9千万円余を増額

平成28年度に予定していた旧小諸本陣解体復元事業について、条件整備等に時間を要したため、土地購入費等4千200万円余を減額し翌年度実施することとなりました。



「旧小諸本陣」

意見書

オスブレイの低空飛行に全会一致で抗議!!

●米軍輸送機オスブレイの小諸市上空での飛行訓練の自粛を求める意見書を内閣総理大臣及び防衛大臣ほか関係省庁へ提出しました。

人事

今定例会では、次の委員会の委員を推薦及び同意をしました。

人権擁護委員

丸山恒子氏（市町区）

高地菊男氏（市 区）

小諸市等公平委員会委員

柳澤良美氏（富士見平区）

小諸市固定資産

評価審査委員会委員

萩原林勝氏（菱野区）

討 論

◆請願 小諸市の福祉施設を障害児の生活能力向上訓練場所として活用を求める請願書

請願を採択するべきとの委員長報告に対し、趣旨採択が妥当であるとの意見があり、それぞれの立場から討論がありました。採決の結果、趣旨採択と決しました。

請願の内容

障害児の「放課後等デイサービス」について、現在市内で実施している施設は、定員が2〜3名であり、多くの利用者が市外のサービスを選んでいくこと、また、市内施設が平成29年度中に閉鎖されることから、小諸市の福祉施設、例えば、野岸の丘総合福祉センター2階を「放課後デイサービス」場所として活用することを検討いただきたいという内容です。

趣旨採択とする討論

放課後等デイサービス施設は、柏木今朝男議員の提言を受け、平成26年6月に「アスパラハウス」が開設となった経過があり、むしろ環境の整った新施設を早急に検討していただきたい。今回の請願では、設置場所を野岸の丘総合福祉センター2階と特定しているが、他の場所や施設も含めて幅広く検討するべきだと思ひ、趣旨採択がふさわしいと考えます。

採択とする討論

趣旨説明にあるように小諸市で唯一の放課後等デイサービス施設の閉鎖による保護者の不安が十分理解できる。また、市外でサービスを受けている障がい者が多い現状である。障害者差別解消法の施行に伴い障がいのある児童に合理的配慮がされるべきではないか。これらを踏まえ利便性のよい野岸の丘福祉センターの有効利用の請願は採択とすべきである。

採択とする討論

請願は、放課後等デイサービスの場所として、現在使用可能であり障がい児の利便性が良い施設を活用できるよう検討を願うものです。この要望の根拠は児童福祉法や障害者総合支援法でも基本理念として示されています。小諸市では利用希望者は多いが、事業所は一カ所で定員が少ないため、他市でサービスを受けているという状況であり、採択は当然と考えます。

採択とする討論

本請願は、小諸市議会のノーマライゼーション意識に問いかけたもので障がいのある人も無い人も、ごく当たり前に生きられる社会にしなければならぬ。養護学校の児童生徒の「放課後保障」も当然の事で、行政は適切な場所を提供すべきと考え。 「趣旨採択」等と曖昧な表現で、この請願を退ける事があつてはならないと考え、賛成の立場からの討論とする。

議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決しました。

議案名	高橋 公議員	土屋 利江議員	掛川 剛議員	小林 一彦議員	丸山 正昭議員	山浦 利夫議員	早川 聖議員	竹内 健一議員	柏木今朝男議員	神津眞美子議員	清水喜久男議員	依田 善典議員	中村 憲次議員	小林重太郎議員	田中 寿光議員	福島 鶴子議員	柏木 博美議員	相原 久男議員	林 稔議長
議案第5号 平成29年度小諸市一般会計予算	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	
請願29-1 小諸市の福祉施設を障害児の生活能力向上訓練場所として活用を求める請願書	趣	趣	採	趣	趣	趣	採	趣	趣	採	採	趣	採	採	趣	採	採	趣	

※議長は表決には加わりません。
 ※◎は賛成、◎は反対を表しています。
 ※採は採択、趣は趣旨採択を表しています。

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	小諸市の福祉施設を障害者の生活能力向上訓練場所として活用を求める請願書	小諸養護学校PTA 会長 中山梨恵子 外10名	趣旨採択
	「第4回全国風穴サミットin信州小諸」の開催支援を求める請願書	第4回全国風穴サミットin信州小諸実行員会 実行委員長 大西崇弘	採 択
陳情	「共謀罪」創設に反対する陳情書	ピースアクション佐久 代表 望月清泰	継続審査

3月13・14日
総務文教委員会
報告

業者が補助事業の目的を十分に理解せず事業を実施したことにより、弁護士とも相談し、受託事業者へ請求予定である。

■平成29年度小諸市一般会計予算

質 疑

災害時の子ども、女性、高齢者、障がい者等のための備蓄品確保はどうか。

答 弁

子ども用おむつ、大人用おむつ、生理用品などを、御影の防災倉庫に保管しているが、避難所に指定している各小中学校等への分散備蓄を検討したい。また、ホームセンターと災害協定を締結しており、災害時の供給体制を整えている。

質 疑

実施計画で若年層の投票率向上を目指し研究するとあるが、具体的な取り組みはどうか。

答 弁

昨年の参議院議員選挙において、10代の投票率が19市中最下位であったことを重く受け止め、29年度は先進地を視察し優

質 疑

良事例を研究していく。保育所の待機児童と今後の運営はどうか。

答 弁

現在待機児童はいないが、近年、未満児の入園希望が多く、保育士の確保が難しさを増している。また、保育園の老朽化も進んでおり、現在7園ある保育園のあり方を検討し、効率のよい保育所運営をしていきたい。

質 疑

野岸の丘が消防庁舎建設予定地であるが、決定の経過はどうか。また、ヴィオ跡地について、現在国交省で砂防堰堤を建設しており、火山泥流からの安全が確保されれば候補地とならないか。

答 弁

ヴィオ跡地は埋立地で、現在は火山泥流のエリアであるので、市民の理解が得られないと思う。野岸の丘は、選考委員会からの提言を受け、政策会議で適地だと判断した。

質 疑

希望者が自宅のパソコンで予約できるシステムの研究を行っているが、機能的に成熟しておらず、導入経費も高額であるため、研究を継続したい。

答 弁

希望者が自宅のパソコンで予約できるシステムの研究を行っているが、機能的に成熟しておらず、導入経費も高額であるため、研究を継続したい。

ための改修はどうか。

質 疑

小学校は老朽化が進んでおり、優先順位を付けて対応している。中学校は、一番新しい芦原中学校でも建築から20年近く経っており、計画的なメンテナンスが必要だと認識している。

答 弁

体育施設の予約が困難との苦情があるが、対策はどうか。

質 疑

売却価格約7千500万円は、不動産鑑定の結果である。今後、小諸厚生総合病院の移転により、駐車場としての賃貸収入がなくなり、優良企業に入って頂いたほうが、雇用や税収面でのメリットがあると判断をした。

答 弁

今後の動物園での動物購入計画はあるのか。

質 疑

動物園の改修等の計画が明確ではない中で、既存の施設で運用できるものを考えているが、次に何を購入するかについては検討していない。

質 疑

小諸城の3D映像をフィルムコミッションに作っていたのだが、園内に映写場所があったほうが良いと思うがどうか。

答 弁

多くの皆さんに見ていただきたいと考えている。動物園でもPR動画を作っているため、早急に映写場所の検討をしていきたい。

質 疑

氷風穴という小諸には素晴らしい歴史があることを理解してもらい、川辺地区のまちおこしに繋がってほしい。今後、商工観光課と相談をしていく予定であり、行政からの予算提案があった際には議会で承認をして支援

3月14・15日
経済建設委員会
報告

■財産の処分について

質 疑

ヴィオ跡地をJRBバス関東へ売却するにあたり、ヴィオ建物の解体費用を市が8千500万円程度負担しているが、売却価格に反映しているのか。

答 弁

売却価格約7千500万円は、不動産鑑定の結果である。今後、小諸厚生総合病院の移転により、駐車場としての賃貸収入がなくなり、優良企業に入って頂いたほうが、雇用や税収面でのメリットがあると判断をした。

質 疑

今後の動物園での動物購入計画はあるのか。

答 弁

動物園の改修等の計画が明確ではない中で、既存の施設で運用できるものを考えているが、次に何を購入するかについては検討していない。

質 疑

小諸城の3D映像をフィルムコミッションに作っていたのだが、園内に映写場所があったほうが良いと思うがどうか。

答 弁

多くの皆さんに見ていただきたいと考えている。動物園でもPR動画を作っているため、早急に映写場所の検討をしていきたい。

質 疑

氷風穴という小諸には素晴らしい歴史があることを理解してもらい、川辺地区のまちおこしに繋がってほしい。今後、商工観光課と相談をしていく予定であり、行政からの予算提案があった際には議会で承認をして支援



建替えが決まった消防庁舎

常任委員会報告

をしていただきたい。

■平成29年度小諸市一般会計予算

質疑

御影用水の維持管理委託について、管理委員会への委託は、どの程度まで管理をお願いし、責任の範囲をどのように考えていくのか。

答弁

管理委員会は全線の用水ざらい、草刈、ごみ上げを4月から11月まで月2回実施している。管理条例では詳細を細則で定めることになっているが、日常管理内容の細かい取り決めが無かったため、今後は細則を定めていきたい。

質疑

企業誘致の目標を年3件としているが場所についてはどうするのか。

答弁

市や公社で持っている土地が無いので、民間の土地を紹介している。29年度に企業立地計画を策定する予定である。産学官連携の中で企業誘致に詳しいアドバイザーに相

談するなど、予算をかけずに場所の選定や経費の試算を行い、財政計画を踏まえて作成したい。

質疑

空き家バンクの登録について、家の片付けが面倒なために登録の動きが鈍いのではないかと、補助金も出ているが、さらに工夫が必要ではないのか。

答弁

家の片付け補助は空き家バンクに登録をし、その物件の片付け費用の2分の1補助として上限5万円を支給している。市内業者の利用でさらに5万円の上乗せ補助をしているが、金額についてはさらに検討をしたい。



動物園の様子

3月15・16日 福祉環境委員会 報告

■平成29年度国民健康保険事業特別会計予算

質疑

年間80万円以上の医療費がかかる高額医療該当者はどれくらいいるのか。また、いったん高額な医療費を支払うのは負担が大きいのではないか。

答弁

ひと月あたり40から50件の申請がある。該当される方には限度額認定証を交付しているので申請いただきたい。医療機関で限度額認定証を提示すれば、ひと月の上限額までを支払うだけで済む。

■平成29年度後期高齢者医療特別会計予算

質疑

収納率が99%程度とのことだが、未納者には資格証明書や短期被保険者証の発行を行っているか。

答弁

過年度分保険料に未納

がある場合は、一カ月単位の短期被保険者証を発行しており、現在は4件のみである。

■平成29年度介護保険事業特別会計予算

質疑

支払準備基金積立金の現状と、介護事業の方向性はどうか。

答弁

現在、積立金残高は2億円を超している。3年間の事業計画を見通して計画的に積み立てをしている。事業の方向性については、介護に携わる人材、財源も限られる中、地域で生きがいを持ち暮らしていきける方向にシフトしていくために総合事業も始まり、事業展開がされていると認識している。

質疑

■平成29年度公共下水道事業会計予算

質疑

マンホールの維持補修について、長期的な計画はあるのか。

答弁

マンホールから管口カメラで覗いて行える腐食

の調査に絞って行う方針で、2千カ所を5年で調査したい。

■平成29年度小諸市一般会計予算

質疑

障害者地域生活支援事業について、地域活動支援センターの今後の見込みはどうか。

答弁

今年度は基本型1カ所を立ち上げたい。4月に公募を行う予定で、早ければ6月に開所できると見込んでいる。定員は10名で、延べ利用人数が60名の計画である。

質疑

母子保健費の子育て世代包括支援センターの具体的な業務は何か。

答弁

妊娠から出産、子育てに至るまで切れ目のない支援を実施するもので、小諸市は母子保健型を選択し、就学前までの支援を充実させていく。

■小諸市の福祉施設を障害児の生活能力向上訓練場所として活用を求めるとのお願い

質疑

どのくらいのニーズがあるのか。

請願者答弁

アンケートを取ったところ、20名からの方が預けたいという結果である。

質疑

野岸の丘福祉センター2階を要望する理由は。請願者答弁

現在市内で受け入れをしてくれているアスパラハウスが、平成29年度で閉鎖することから、市内で預けられる場所が必要なことと、野岸の丘は多くの人と触れ合うことができるということ。 ※委員会では、採択と趣旨採択が同数であったため、委員長の決するところにより採択と決した。



平成29年度施政方針で
「期待すること」と「気になること」について



改革の嵐
福島 鶴子

た研修を行う事で、次に一般の皆さんへの関心につなげたいと考えている。

質問

施政方針で、生活弱者等に深い理解を示された事は評価できるが、消防署移転先決定に至る経過には疑問を感じる。市が示した移転先は、障がい者の働く場所であり、小さな子ども達が親子で集う場所であり、市民が生活の悩みや相談に訪れる場所で、市の福祉ゾーンである。決定の前に説明はあったのか。

副市長

消防署が、市民にとって重要な施設である事から、消防署にとって適地かどうかの判断で決め、住民説明はしていない。

質問

教育振興基本計画に「社会教育」と「家庭教育」が欠けているのは何故か。

教育長

政策的見地から示したが、重要な事だと認識している。

市長 行動分析学に基づき、児童生徒の指導を行っている臨床心理士の奥田健次氏を迎え、保護者や指導者の研修を行う。そうし

質問 自治の基本を福祉・健康づくり・子育てにおく市長として、特別な支援を必要とする市民への対応は何か。

市長

他市に比べ遅れたが、障がい者の日中活動をサポートする「地域活動センター」を設置する。

質問

特別な教育的ニーズが必要な児童生徒に対する支援には社会的理解が不可欠。その対応は。

市長

行動分析学に基づき、児童生徒の指導を行っている臨床心理士の奥田健次氏を迎え、保護者や指導者の研修を行う。そうし

総合戦略と平成29年度予算の整合性
自主財源確保と健全財政について



新政会
清水 喜久男

東南部でもどこが可能性が高いか調査中でありますので当初予算には計上していませんが、先行投資の効果が見込める場所が決まれば対応して参ります。

質問

小諸市は、公園事業特別会計で運営しているが、動物園等を持つ飯田市や須坂市では一般会計内で運営しています。今後一般会計から多額の金額を繰り出すことが明らかですので、一般会計化したらどうですか。

市長

懐古園は観光地としての色合いが強かったため、収支が分かりやすいよう特別会計として来ましたが、今後は大規模改修等で多額の費用が必要ことから一般会計から投入することになるので、他市の事例等を参考に研究してまいります。

質問

総合戦略では、住宅建設ニーズが高い東南部地区を開発する計画ですが、道路やインフラ整備の具体的状況はどうですか。

経済部長

平成15年に佐久市野沢の成田山に「ぴんころ地蔵」が建立され、現在は10万人の参拝客があ

ります。時代要望・話題性があれば小さなお地蔵様でも多くの参拝者が来るので、小さい動物園でも可能性はあると思います。その点はどうですか。

市長

動物園のあり方は、懐古園運営委員会で検討頂いておりますが、動物園職員も大勢の皆さんに親しんでもらうために色んな取り組みを行っています。今後は開園100周年に向けて新しい動物園を作って行きます。

質問

公共施設等総合管理計画は、平成29年から39年までの11年間で、最初の3年間で個別施設に関する計画の策定をするとのことですが、糠塚園については多くの高齢者の皆さんが利用しているが老朽化が進んでいます。高齢化は進展する中で個別計画策定においても最優先で考えることはどうですか。

総務部長

施設によってはある程度前倒しで検討を進める施設も当然あるので、住民合意も図れて施設方針が決まれば、早い段階から実施することもあり得ます。

施政方針で語られた

市政運営の基本姿勢と事故の対応は

質問

限られた予算と限られた人員で市民の付託に応えていくためには、施政方針で述べた市長の小諸市政に対する思いと、職員の受け止め方が共通の認識となることが、私は最も重要だと考えます。市政経営の責任者として「しせい（施政・市政・姿勢等）を正す」を市長公約に掲げ、市役所改革に着手した矢先に発生した御影用水の越流事故と動物園の事故について、今回の事故から何を反省し、また何を学び、次にどう生かすのか。最初に御影用水の越流事故について市長の見解を聞きたい。

市長

二度と起こらないよう、しっかりと対応していく部分を再度検証し、他団体に委託等している事業についてはお互いの責任範囲の明確化や役割分担をしっかりとしなければいけない。

質問

災害発生の要因としては、日常管理、通報への対応、災害発生時の対応の甘さがあるとして、再発防止策を取りまとめた「災害防止マニュアル」があるが、どのように全庁的に浸透させていくのか。

市長

マニュアルの作成が目的ではなく、事故を発生させないことが肝要と考えている。原点に立ち返り、しっかりと管理を行っていくよう部課長に指示をしたところである。

質問

動物園の飼育員の負傷事故に関して、当面、職員の複数体制で対応されるが、原因究明と抜

市長

本的な再発防止策と同時に、けがをされた将来ある担当飼育職員へのケアについて、親身になった対応が必要ではないのか。

質問

小諸市動物園の事故や御影用水の越流事故、野岸小学校の耐震問題、指定文化財のずさんな管理、公金の横領等、この間、相次ぐ不祥事が発生してきた。施政方針の中で、組織として危機管理意識の希薄さ、職員の日常業務への慢心は否定できないと述べられ、市政経営者として「しせい」を正すことを市長公約に掲げ今日がある。市民の期待に対して、その決意を聞きたい。

市長

やはり働き方改革が必要。仕事は増えるだけで減らない。適正量に戻すことが重要。安全管理を先延ばしせず抜本から改革していく。新たな決意を胸に、市役所改革に取り組んでいく。



日本共産党

早川 聖

平成29年度施政方針・予算案を受けて



市誠会
山浦利夫

考えているか。

建設部長

市としてサービスできる水準の研究を、組織横断的に庁内で連携し、公共交通だけでなく、高齢者の支援施策も含めながら検討していきたい。

質問

平成29年度予算編成方針の考え方は。

市長

第10次基本計画並びに実施計画の策定と併せて行い、計画と予算の連動を図りつつ、財政規律の確保に視点を置いた予算編成に努めた。

質問

これからは業務の断捨離、選択と集中は避けては通れない課題と理解はするが、行政改革の視点で29年度予算に反映された部分はあるか。

総務部長

必要な事業であっても優先順位や事業効果などの視点で事業の取捨選択に取り組み、また、予算編成に向けては各種団体への補助事業等について、副市長によるヒヤリングを行いながら見直しを行った。

質問

少子高齢化や人口減少の進展の中で、今後の財政運営にどう取り組むのか。

市長

第10次基本計画では、優先順位の高い事業への重点配分や基金や市債に依存した財政構造からの回避、新規の公共施設整備は原則凍結、自主財源の確保など、5項目を今後の財政運営の原則としている。

質問

今年度策定している小諸市公共施設総合管理計画の着実な運用が大変重要だ。この総合管理計画をどのように運営していくのか。

財政課長

計画期間は総合計画の計画期間と合わせて11年間です。

最初の3年間で個別施設の実施計画を作り、その後の4年、最終年の4年として、3区分に区切っている。先ずは、来年度以降3年間の個別計画の実施計画を作り、施設の総量を縮減するという目標はあるが、施設の適正な維持管理の計画としても進めていく。

質問

市政経営の基本政策に掲げる「攻める産業振興」の考え方は。

市長

産業振興が働く場の創出や自主財源の確保、人口減少対策につながる。失敗を恐れない攻める姿勢での、チャレンジ精神が必要だと考えている。

質問

六次産業化拠点施設整備は、中山間地農業や観光振興など小諸市の活性化につながると考えるが、これまでの検討状況は。

市長

現状の分析や施設のありようなど、様々な要素で検討してきた。更に経営の観点からも検

市政方針の政策分野別重点施策について



創正会
田中 寿 光

質問

子育て・教育分野での学力向上に向けた具体的な取り組みはどうか。

市長

教職員の指導力の向上を図ることを目的とした梅花教育最構築事業で、各校に予算を配分し、教職員の自主的な研修等を支援しています。各学校では、研究主任教員による学力向上委員会を設置し、指導方法についての情報交換や情報共有を行い、現場での実践に生かしています。また、学習支援体制の強化のために指導主事1名を増員するとともに、特別支援教育においても新たに指導主事を配置します。

質問

環境分野での質の高い再生可能エネルギーの導入をどのように促進していくのか。

市長

小諸市内で導入の進む太陽光発電設備に関しては、自然環境や景観と調和し、また、災害対策にも配慮して、地域住民と事業者の皆様との相互理解を図りながら導入を促進していきます。そのために、現在、小諸市事業用太陽光発電設備設置に係るガイドラインの整備を進めております。事業者の皆様が事業計画を立案する段階で、あらかじめ検討しておくべき事項を具体的に示し、周辺環境などに調和した質の高い太陽光発電設備の導入を促進したいと考えています。

質問

健康・福祉分野での小諸厚生総合病院との連携による目に見える市民サービスとは具体的にどのようなことか。

市長

小諸厚生総合病院には、これまでも各種検診事業や保険福祉分野への専門職の派遣など、ご協力をいただいていた。今後も基本協定にあるように、実務者の組織として立ち上げられた、病院運営懇談会において出された、各団体からの様々なご意見をもとに、より良い病院運営となるよう働きかけを行っていきます。併せて、市役所と同一敷地内となる立地条件を生かして、イベント等の同時開催など、広く市民の皆様がご自身の体に関心を持ち、健康づくりのきっかけとなるような取り組みを行い、健康長寿のまちづくりに努めていきます。

市長

防庁舎建設の見込みはどうか。

市長

小諸消防庁舎の建設地は、移転候補地検討委員会で検討した結果、旧小諸高校跡地を予定している。今後は、野岸小学校仮設グラウンドとしての使用が終了した後、地盤調査、基本設計等を進め、工事請負契約議決後、平成31年度の着工を考慮しており、工期は約1年を見込んでいます。

質問

協働・行政経営でのふるさとPR事業への市長の想いと小諸版カイゼン方式の具体的な取り組みはどうか。

市長

シティブロモーションや小諸ふるさと市民制度などを盛り込み、全国に向け小諸をPRし、自主財源の確保、観光客や移住者、定住者等の増加につなげていきたい。また、小諸版カイゼン方式の定着に向け、行政マネジメントシステムの一環として進めるとともに、職員の勤務実態の把握や、組織の作業効率を高めるような仕組みづくりを検討し、取組みを加速させていきたい。

市長

来年度から新たにモデル事業として店舗誘致事業をスタートさせ、人が集まる魅力ある店舗を戦略的に誘致、集積させることで、街中の賑わいを創出していきたい。

質問

生活基盤整備としての小諸消

平成29年度政府予算と我がまちの取り組みについて
地方創生の本格的な事業展開について



公明党
柏木今朝男

職員とのランチミーティングを通して考え方を伝えていく。トップダウンではなく、自分たちで考えていく能動的・自発的な職員を育成していきたい。

質問

防災対策や経済成長につながるインフラ整備について、水道管の耐震化と今後の進め方は。

環境水道部長

耐震化は正確に把握できていない。今後算出していきたい。

質問

観光客受け入れ環境の整備、特にWiFi環境整備については、避難所等防災関連施設への整備も重要と考えるがどうか。

総務部長

計画的に早期に検討したい。

質問

空き家の有効活用策として、住宅確保の困難者を支援するための制度についての考え方は。

建設部長

全国の取り組み状況を見守りながら事例を研究していきたい。

歳入の中でも市税収入が28%、次いで地方交付税が22%を占めるなかでは、この2つの確保策が最も重要だが市長の所見は。

市長

市税収入では、ふるさと納税等にしつかり取り組めばある程度確保でき、今年度現在までに目標額5千万円にほぼ近づいている。地方交付税は、その時々々の国の政策に敏感に的確に反応し必要な財源を少しでも有利な条件で得られるよう努めていく。

質問

市職員の働き方改革による人材育成の取り組みについて伺う。

市長

個人質問

駅前・駅周辺の開発について
天池総合運動場の施設整備について



丸山正昭
(市誠会)

討に当たっては、地元区、商店街、まちづくり推進協議会など地域の皆様との話し合いの場を持ち進めてまいります。

質問

天池総合運動場の今後の施設整備スケジュールはどうか。

市長

駅前・駅周辺は、今後どのように開発・活性化させていくか。

質問

駅前・駅周辺を整備することにより、小諸駅のアクセス向上や公共交通における乗り継ぎの円滑化、交通混雑の解消、歩行者の安全性の確保が図られるとともに、駅前から町中へのアプローチ、回遊性の向上、観光客へのイメージの向上、駅利用者数の増加によるにぎわいの空間の創出などの効果が得られ、中心市街地の活性化にもつながるのではないかと考えております。合わせて、第4期事業の計画検

市長

具体的には、運動場の上の段に全天候型の40メートルトラックを3レーン整備するほか、木造平屋建ての30坪程度のクラブハウス1棟、また、下の段の旧ゲートボール場には、少年サッカーの使用を前提とした人工芝の多目的グラウンド1面の整備を計画しております。尚、40メートルトラックの内部には、これまでどおり既存の天然芝の少年サッカー場2面を整備する予定であります。工事に当たりましては、地元の皆様への説明会の開催を予定しており、全体の工期は6月に着工し、11月末には完了させたいと考えております。

学校現場における先生方の長時間労働改善のために 給食費会計の公会計化を

学校の先生方の仕事が繁忙を極め、児童生徒としっかり向き合う時間、十分な教材研究の時間など先生の本来の職務に費やす時間が確保できていない。こうした状況を改善するために、自治体ができることのひとつとして学校給食費の公会計化を提言しました。

質問

現在小諸市では、給食費会計は学校毎に校長の名義で集金し、支払いを行っている。このような私会計での取扱は、学校現場の事務処理面での大きな負担になっている。また、学校給食は、自治体が行う事業の一つなので地方自治法第20条に従い、



小林 一彦
(市誠会)

公会計によって実施されるべきものであり、更に未納者に対してPTAの役員が督促に当たっている実態は個人情報保護法に抵触していないかなどコンプライアンスの観点からも問題があります。公会計化の効果として、給食費負担の公平性、会計の透明性が確保されること、教職員にとつては、校務が軽減され学力向上及び生徒指導など本来業務に傾注することが可能になること、PTAの役員の負担が解消される等を挙げ、教育長及び市長の見解を質しました。

教育長

市全体のシステムにも係わることで、研究をさせていただいてから、私の考えを述べさせていただきます。

市長

様々なメリットがあるということですので、私のほうで早期にどういうふうにするのが一番いいのかということをよく検討させていただきます。

学校改築計画のスケジュールと通学バス無料化は？ 新市庁舎の防災拠点としてのマニュアルは整備されたか？

質問

長期学校改築計画の策定スケジュールをどう考えているか。

市長

平成28年10月5日の市民学習会を踏まえ、長期学校改築計画検討会を設置し平成29年1月から検討を開始した。

平成30年1月を目標に教育委員会に対してたたき台を提言していただく。

たたき台の検討過程では、検討状況をお知らせするとともに、検討会の委員と市民の皆様との意見交換の場なども設けていきたい。

その後は本格的な計画策定の作業に入るが、概ね1年程度を



高橋 公
(市誠会)

かけて市民合意を図っていくことを想定している。

質問

例えば統合案を検討する場合、新たにバス通学圏になる地区からは賛成という話が出てこないと思う。たたき台策定中に全地区無料スクールバスを実現しておくべきではないか。

市長

無料スクールバス導入については、計画策定の段階で検討されるべきものである。

質問

新市庁舎一・二階について、大規模災害が来るといふ先見の明でこの広いフロアを作ったと思うが、有事の際のマニュアルはできているのか。

総務部長

29年度中に業務継続計画の中で計画書として作成をしていく。

「障害者差別解消法の制定」を踏まえて
福祉サービス施設の現状と課題について



中村 憲次
(新政会)

質問

障害者差別解消法が制定されたことに伴い、障がい者への「合理的配慮」の提供について、職員にはその対応をどの様に周知をしているのか。

市長

障がいの有無に関わらず、住みなれた地域で安心して暮らせる地域社会の構築のため、昨年12月に全職員が一体となって取り組みのための職員対応要領を策定した。合理的配慮の一例として、手話ガイドブックの各課への配布等を行った。また、手話通訳者の臨時職員を雇用する。

質問

障がいのある児童の放課後等

デイサービス施設である小諸市内唯一のアスパラハウスは、29年度に閉鎖になるが、その後の対応についての考えはどうか。

市長

候補としてひまわり園も検討してみるが、知識を有する人材の確保が必要であり、直営では困難である。障がい福祉サービス提供事業者にも相談している。

質問

小諸養護学校の児童生徒の保護者から、放課後等デイサービス指定事業所施設として野岸の丘福祉センターが提案されている。保護者の強い希望と多くのメリットが示されているが、施設の有効活用はできないのか。

市長

野岸の丘福祉センターの活用の提案については、多くのメリットを挙げていただいたので、障がいのある児童の皆さんの事を第一に考えて、早期に場所の選定等含めて事業所が小諸市内にできるよう考えたい。

パーキングパーミット制度の普及と
今後の駐車場整備の課題は…



土屋 利江
(公明党)

質問

信州パーキングパーミットは、障がい者や高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方に県内共通の利用証を交付しているが、小諸市の交付状況はどうか。

市長

現在、189名の方に交付をした。10月からの小諸市の窓口では、88名。内訳は障がい者等70名、要介護高齢者4名、妊産婦12名その他2名です。

質問

12月には厚生病院が開院します。午前10時から11時のピークが25台と予想されているが、駐車場内での混乱は明らかです。駐車場について、厚生病院との

その後の協議はどうか。

建設部長

区画を修正する協議も始めて更に、運行上の話も詰めていく。

質問

厚生病院には人口透析で87名の方が通院している。1回の治療に30人の患者さんが通院し、20台程の駐車場が必要になるが今後の協議はどうか。

建設部長

透析患者さんの貴重な実態を聞き、駐車台数の議論でなく、連携会議の中で患者さんに不利益にならない議論を展開します。

質問

市長は就任以来、若手職員とランチミーティングをしている。多様な働き方の普及による出産、子育てと仕事の両立を促進するための取り組みとして、イクボス・温かボス宣言はどうか。

市長

宣言することは決めているが中身を着実に実行していきたい。より効果的な形で宣言をしたい。



竹内 健一
(創正会)

「動物園事故・小諸駅舎構築・

現厚生病院の活用」について

質問

動物園の事故原因は何か。

市長

当事者の回復を待ち究明する。

また、事故検証委員会でも再発防止策を策定し、市民へ公表する。

質問

実名報道はいかがか。

市長

報道のあり方、関係機関との連絡等も見直しを行う。

質問

老朽化している駅舎整備が必須だが、市民合意を得るためにアンケートを取ってはどうか。

建設部長

駅前広場も含め、多くの方から聴取できるように進めていく。

市長

駅舎の整備については、しなの鉄道(株)と協議していく。

質問

移転後の厚生病院の活用は。

市長

厚生連は老朽化した東・西病棟を解体するとしている。その施設の中にエネルギー室等があり、新たに中央棟を活用整備するには1億円以上の投資が必要。そのため再活用はしない。

質問

従って駐車場以外の建物は全て更地にしてもらう計画である。

質問

団塊世代が6年後に後期高齢者となるが、介護福祉施設等は足りるのか。

市長

37年には7千970人が後期高齢者となるが、昨年の介護サービス利用者からの調査結果では当面の間は充足している。地域包括ケアシステムを推進する事で要介護の重度化を防ぎ、現施設の維持での対応を考えている。

小諸市農業の担い手の確保

親身に相談できる専門職の配置を

質問

販売農家の45%は70歳以上で後継者は18%しかない。農業後継者問題は深刻だ。担い手確保をどのように進めるのか。

市長

これからは新規就農者等担い手の確保に積極的に取り組んでいく。農林課だけでなく庁内の連携をとり就農後の支援も課題として取り組んでいく。

質問

新規就農した人達が共通して苦労している3つの課題がある。住む家・農地・農業機械の確保だ。市の支援の現状はどうか。

経済部長

農地については集積推進委員

という職員を新たに配置して相談等対応している。来年度からは農地利用最適化推進委員も新設されるので期待している。

農業委員長

離農する方の事前把握をし、農地利用の集積を進めている。あわせて農機具についても有効利用につなげている。

質問

現実には、行政よりも地元の人の方が多くの情報を持っている。行政はもっと就農する人の気持ちになって取り組むべきだ。

質問

今後ぜひ努力していきたい。

経済部長

今後ぜひ努力していきたい。

質問

就農準備から就農後の経営が軌道に乗るまでの専門職の支援が必要だ。専門職を配置できないか。

経済部長

専門ではない担当がいるが、しっかりやっていきたい。

要望

ぜひ専門職配置の検討を。



掛川 剛
(日本共産党)

**小諸未来義塾、今後の展開は!!
里親制度の推進と周知を!!**



小林 重太郎
(改革の嵐)

質問

小諸未来義塾について、今後どのような展開を想定しているか。

市長

実現可能なものから事業に反映していけるよう、現在関係課と調整を進めている。
単発的な開催にとどまるのではなく、継続的な活動を実施していきたい。

質問

里親制度推進、特にショートステイとその周知について、どのように認識しているか。

市長

一時保護や施設入所の期間が1カ月を超えるような場合は、

学校への通学が課題になり、転校せざるを得ないという状況になることもある。そのような場合を考えると、地元で対応できる環境作りは必要であり、一時的に受け入れできる里親がいることが望ましい。

関係機関と連携しながら総合的に制度の周知を図っていききたい。

質問

佐久地域での「こども応援会議」には、どのようなスタンスで臨むのか。

市長

民間レベルでの活動を見据えながら、その時々で行政として対応できることを検討していく。

質問

15歳から20歳の若者（高校中退者を含め）への支援として、行政でできることはないか。

市長

各方面の関係者を集めた対策会議を構築するなど、研究していきたい。

**移住・定住者に、地域の暮らし方を
知ってもらうことも大切ではないか**



柏木 博美
(日本共産党)

質問

小諸市の総合計画では「住みたい、行きたい、帰ってきたいまち小諸」を目指し、移住、定住策を進めているが、今小諸に住んでいる人が住んでよかったと思える市政運営をすることが、帰ってきたい、行ってみたいまちになる。行ってみたいまちの選択肢になるためにどのように広報しているか。

市長

東京を中心として、移住セミナーやフェアに積極的な参加や移住体験ツアーの開催、定住促進補助金の広報、子供がきっかけで移住することが多いので子育て施策の広報等をしている。

質問

小諸市は、地域協働、市民協働のまちづくりを進めているが、移住・定住する人に、雪かき、区内清掃、消防団活動等、その地域の暮らし方を理解してもらうことも大切だと思うが、どのように対応しているのか。

経済部長

移住者の対応は、本人も移住者である地域おこし協力隊員が行っている。地域との結びつきについては、移住者の意思を確認しながら進められればと思う。

質問

定住促進補助金が4月から半額になった。移住して家を建てるのは大変なこと。しばらく小諸に住んでみてからという人もいる。1年で見直すような施策でいいのか。

経済部長

総合戦略で始めた事業で予算も大きい。検証して見直した。今後もアンケートを実施し状況を見てどうするか検討していく。



神津 眞美子
(新政会)

総務部長
組織機構の見直しについては、
絶えず行っていく必要が出てく
ると考えている。ご提案いただ
き、関係部署を中心に全庁的に

質問

支援を必要とする人に必要な
支援が届くためには、分かりや
すいことがまず第一と考える。

**支援を必要とする人に
必要な支援が届いているか**

検討していきたい。

質問

小諸市はひとり親家庭の比率
が高い。ひとり親家庭の生活の
安定と自立を促し、子どもの福
祉の増進を図ることを目的に児
童扶養手当があるが、年3回の
まとめ支給だ。家計管理のしや
すさから毎月支給する自治体が
あるが、小諸市でもできないか。

民生部長

国でも支払回数や支払方法に
ついて検討を始めたと聞してい
るので、注視しながら研究して
いきたい。

質問

支援を必要としている人に向
き合う時の姿勢や言葉がけは大
切で、きめ細やかな対応が求め
られる。小諸市も独自のパンフ
レットを作成してはどうか。

民生部長

確かに独自のものはないが、
対応は丁寧に行っている。あれば
一層良いと思うので、工夫し、
充実していきたい。

議員紹介コーナーへ おいでなんし パート6 (最終回)

質問事項 ①居住地 ②趣味 ③座右の銘 ④つぶやき

18番 相原久男議員
会派 創正会

- ①南町
- ②映画鑑賞、料理、お祭り、軟式野球審判
- ③ありがとう
- ④第32代議長を拝命し、無事退任いたしました有難うございました。



16番 福島鶴子議員
会派 改革の嵐

- ①六供に嫁いで50余年
- ②自己表現(ダンス)
- ③孤掌、鳴らし難し
- ④いつも、自分の出した答えに「これで良かったのかな～」と問いかけています。



19番 林稔議員
会派 無所属

- ①加増
- ②名利・古刹巡り・木彫
- ③意志あれば道あり
- ④百尺竿頭、一步を進む、さらなる向上を目指す自分であれ。



17番 柏木博美議員
会派 日本共産党

- ①一ツ谷
- ②読書・映画鑑賞
- ③日日是好日
- ④お互いの違いを認め尊重し合う事の難しさ。地球規模で排他的風潮のあることが切ない。



議会と語る会で
いただいた意見のその後

小諸市議会では、昨年の5月に市民の皆様と議会と語る会を開催しました。

テーマを喫緊の課題である「学校改築計画」及び「公共交通」とし、次のとおり意見をまとめ、8月30日に市長に提言書を提出しました。

この提言に対して、3月定例会の常任委員会において、回答を得ましたので、その主な部分を掲載します。

詳しい内容は、小諸市議会ホームページに掲載しますので、こちらをご覧ください。



学校改築計画

●議会提言

統廃合の賛否や小中一貫校の導入、地域コミュニティに与える影響など様々な意見や要望が出されました。学校改築計画策定に当たっては、子どもたちや地域に及ぼす影響とメリット、デメリットなどの調査・研究を行い、また、今後の児童生徒数の推移と建物の劣化状況、財政的な裏付けや維持費などの基礎的なデータと合わせ、調査結果を公表し、市民に判断材料を示した上で、合意形成に努めること。

また、現在までに施設の耐震化や改築を行っているが二重投資とならないよう配慮が必要である。

◆市長からの回答

昨年の12月に「小諸市長期学校改築計画検討



学校改築計画以外の
学校について出された
課題

●議会提言

学校改築には、今後数年を要することから、現状の課題について出された多くの意見の中で、緊急性を要する事項を提示いたします。

1 児童生徒の安全確保

①児童・生徒の登下校における安全確保のため、通学路へのグリーンベルトの新設と塗り直し、また、ヘルメットの着用等について検討の必要がある。

2 各校等で実施している

見守り隊について、地域での取り組みに温度差があるため、市全体での活発な取り組みを促す必要がある。

2 学校施設及び学習環境の向上

備品（机、椅子、テレビ等）の計画的な更新を行うとともに、ロッカーが狭く収納に支障をきたしているため、改修を行う必要がある。

3 非常用備蓄品及び避難場所の整備

①災害時の避難場所に指定されている学校への備蓄品を充実するとともに、校舎外の備蓄品倉庫の設置も必要である。

2 各地域の公園を多目的

公園（子どもや高齢者が安心して過ごせる場所・避難場所）として整備するよう研究していく必要がある。

4 携帯電話端末やインターネットの危険性の啓発

スマートフォンや携帯ゲームを長時間使用することによる弊害に対し、利用に当たってのルールづくりを行うとともに、モラルやマナーについて啓発を強化する必要がある。

◆市長からの回答

1 新入学児童の「通学用ヘルメット」は、小諸

ライオンズクラブ様及び小諸ロータリークラブ様のお力添えにより、平成29年度より導入します。また、グリーンベルトは、道路管理者、警察と協議し、通学路の安全確保に努めます。

「見守り隊」の活動は、

「地域総ぐるみで子どもを育む取り組み」として、大変心強い自発的な活動です。この地域発の取り組みを大切にしながら、コミュニティースクールの取組み等と併せ、引き続き推進していきます。

2 本年度、全小中学校

の授業を行う教室に企業の皆様からのお力添えもあり、地デジ対応の大型テレビを配置し、ICT教育環境の基礎的な部分を整えることができました。その他教育備品や設備等については、引き続き整備に努めます。

3 学校での災害用備蓄

品等の充実に関しては、防災担当課と検討します。



4 子どもたちが情報通信手段と正しく向き合い、情報モラル等を身に付けられるようにするために、学校での指導以上に、家庭の指導が必要です。小諸市PTA連合会とも連携して進めていくことが重要であると考えています。

公共交通

● 議会提言

1 利用周知

利用方法が周知されていない人の中には、利用したいが仕組みが分からない人と、公共交通を利用する必要のない人がいる。

利用したいが仕組みがわからない人には、理解するまで丁寧に寄り添った説明が必要である。

また、現在、公共交通を利用する必要のない人にも、将来、公共交通が必要になる可能性もあることから、事前に登録をしてもらうようきめ細かな粘り強いPRが必要である。



2 利用料金

今までのすみれ号と比較して高いと感じている人と利用者の中には利便性の向上により安いと感じている人がいる。

高いと感じている人には、料金設定の根拠を説明し理解を得ると共に、さらに利便性を高め、料金が妥当であると感じてもらふ必要がある。また、予約に掛かる電話代をフリーダイヤルにする等、利用者の負担の軽減を図ることも必要である。

3 利便性向上

① 定時定路線バス

現在の運行路線、ダイヤ及び停留所がニーズに合っていないことから、愛のりくん利用者、未利用者共にこもろすみれ号の復活を望む声が多くある。また、定時定路線バスを登下校に利用したくても利用できないとの声が多い。

これらを解決するには、車両台数を増やし対応をする必要がある。また、市内施設を周遊する循環バスの検討も必要である。

② 予約制相乗りタクシー 目的地への直行やドア・ツー・ドアの完全実施等の希望の声がある。これらを解決するには、さらに乗降場所のニーズを調査し、整骨院や接骨院など高齢者の希望する場所を増やす必要がある。

また、居住地から同一エリア外にあるスーパーや医者等に直接行けるような路線の検討及び運転手の再教育も必要である。

4 観光対応等バス

バスを有効利用するた

めに次の検討を求めます。
① 土日に関光拠点を周遊する循環バスの検討を行うこと。
② イベント開催時におけるシャトルバスの検討を行うこと。

5 公共交通事業に対する予算

市民からは利便性の向上が多く求められており、それらを実現するために費用の増大は避けられない。これを利用料金に

転嫁するのか、税金を投入するのか、いずれにしても公共交通事業を永続的に持続させるための積算根拠を市民に示し、説明責任を果たし理解を得る必要がある。

◆ 市長からの回答

利用周知は、小さな説明会等をこまめに実施してきており、引き続き、利用登録者を増やす取り組みとして、広報等で広くPRするとともに小規模な高齢者の集まりにあわせた説明会の開催等を中心し、丁寧な説明に努めてまいります。

利用料金は、デマンド型運行をしている県内の自治体と比較しても半数の自治体で、1回の利用料金が300円又は300円以上となっています。現状では、こもろ愛のりくんの利用料金300円は妥当であると判断しています。また、フリーダイヤルの導入は、現在、費用面の調査及び電話番号の検討等を行っています。利便性の向上は、これまでも運行の見直しや改善を図ってきていますが、定時定路線バスのスクールバス化は、登下校の利用は教育上の観点から通学は徒歩か自転車としていくこともあり困難です。更に予約制相乗りタクシーでのエリア外へ希望する場所までの運行の実現も困難です。

現在も利用者や市民の皆様のご意見を反映し、利便性の向上に向けた見直しや改善を図ってきておりますが、すべての市民ニーズに答える運行時間の拡大やそれに伴う運行車両の追加は、市の財政状況上も難しいと考えており、そうした観点からも、地域公共交通として行政が担う役割等も見据えていく必要があると認識しています。

観光拠点循環バスは、一般社団法人こもろ観光局と協議しながら、観光二次交通について研究したいと考えています。持続可能な公共交通を確保・維持していくためには、経営の合理化に向

け、「収益を増やす方策」と「経費を削減する方策」を検討していく必要があるとあります。



「議会と語る会」を開催します

内容

- ・議会からの報告【15分程度】
- ・意見交換（防災対策・空家対策・小諸厚生病院に期待すること）

小諸市議会では、議会の活動や市政の課題等を共有するとともに、市民の皆様から議会や市政に対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため、議会と語る会を開催しています。意見交換の場を多くの方から気軽に意見を出してもらえる場となっておりますので、お気軽にご参加ください。



開催日時

※どちらの会場でも、ご自由に参加いただけます。

開催日	会場	対象地区
6月28日(水) 19:00~21:00	市民交流センター2階(第1~第3会議室)	東部・中部・西部・東南部
6月29日(木) 19:00~21:00	諸公民館	大里
6月30日(金) 19:00~21:00	J A 佐久浅間 北大井支所	北大井
7月1日(土) 13:30~15:30	市民交流センター2階(第1~第3会議室)	全地区対象
7月3日(月) 19:00~21:00	久保公民館	川辺
7月4日(火) 19:00~21:00	J A 佐久浅間 三岡支所	三岡
7月5日(水) 19:00~21:00	芝生田公民館	西小諸
7月6日(木) 19:00~21:00	和田研修センター	南大井

編集後記

この議会だよりが市民の皆さんのご家庭に届く頃には、市内の各学校の卒業式・入学式は一段落しているでしょう。そんな中、毎年地元の保育園の卒園式と呼ばれ、毎年心温まる素敵なお式を見せて頂くんですが、光栄だけど悩むのが『挨拶』なんです。

保育園の卒園式は素敵なイベントなので年長さん以外の保護者の皆さんも多くて、きつと昨年の私の挨拶を覚えている人も何人かいるかもしれないな、なんて思うと気の利いた違う挨拶をしくちや、なんて思ってしまうわけです。今年も無事に終わらせることが出来ましたが、終わったら終わって『いい挨拶だな』って思ってた貫えたらどうか、と新たな悩みに突入してしまいます。

区の総会や地元のお祭、運動会や防災訓練など挨拶をさせていただく機会は度々ありますが、光栄なんですけど同じ悩みが続きます。

(橋)

傍聴席



市区
曾根さとみ さん

議会の傍聴に来たのは始めてでした。今回は私とPTAの皆さんが読願書を議会にお願いした関係で若干緊張感がありましたが、PTAの皆さん

が御一緒でしたので落ちて着いて傍聴できました。議会では障がいのある児童の放課後等デイサービス施設の件が取り上げられまして、議員さんから質問、また、市長さんの受け答え、部長さんの答弁など、共に真剣に取り組んで居られる姿を拝見させて頂き、私たち市民の為という姿勢に感謝、感動いたしました。特にこれから、市長さんはこの件も含め、福祉サービス関係の事柄について職員の方の皆さんと共にしっかりと考慮して取り組んで

いけると言われており、御一緒した皆さんと共に今後の対応に期待をしたいと思います。

今回の議会傍聴については皆さんと一緒に真剣に聞くことができて良かったというのが正直な気持ちです。議会での皆さんの取り組みが、私たちの生活に直接関わってくるということが理解できます。議会、市役所の皆さんに期待をしながら、また今後も議場に足を運びましょうと言いつつ、議場を後に致しました。

